

「この船は、今晚おそくか明日の夜明けに、アメリカから日本に向って行く汽船にであります。日本に手紙を出した人は、用意しておいてください。」

という連絡れんらくがあつた。この広い太平洋の真中で、東と西に向って走る二隻せきの船が、きちんと出会うものだろうか。でたらめを言つて喜ばせているのではないか。健次郎は心の中で疑問に思いながら、それでも手紙を書いて頼んでおいた。すると、夜中の三時ごろ二つの船がびたりと出会い、お互いに汽笛きてきを鳴らしながら、二百

